



より専門的な相談相手

- 「〇〇が心配で眠れない」
- 「いつもイライラしてしまう」
- 「キレてしまう」
- 「周りの目が気になって仕方ない」
- 「自分に自信がない」
- 「失敗が怖い」

自立とは適切な依存先をもっていることと言われることがあります。上記のような悩みがあるとき、より専門的な相談相手としてスクールカウンセラー(SC)などがいます。

子供さんや保護者の相談相手として第一の窓口はもちろん各学級担任の先生方です。その上で、相談内容によってはより専門的なSCに委ねるのも賢明な選択と言えます。本校ホームページのメニュー「特別支援教育」に玉名教育事務所所属の内田スクールカウンセラーからのご案内を載せています。様々な悩みを気軽に相談できます。必要に応じて活用をご検討ください。

梅雨末期の豪雨に警戒を



令和2年7月豪雨災害はまだ記憶に新しいものです。写真は6月28日の凸版印刷付近の道路です。側溝から水が溢れた後にコーンで注意喚起されていました。市土木課からの情報提供をもとに確認したところです。梅雨明けが待ち遠しいところですが、もうしばらくは豪雨への警戒が必要です。

令和2年7月豪雨災害はまだ記憶に新しいものです。

写真は6月28日の凸版印刷付近

全席シートベルト着用？

自動車乗車中、全席でシートベルトを着用されていますか？

表は令和4年中の玉名警察署管内での高校生以下の交通事故負傷者数を通行目的別で示したものです。

	就学前	小学生	中学生	高校生
遊戯	0	0	0	0
買い物	2	7	2	6
登校	0	0	1	1
下校	0	0	2	1
合計	2	7	5	8

就学前と小学生は「買い物」前後の途上で自動車に乗車しているときの事故です。

シートベルト着用の有無で死亡や重傷事故のリスクが変わります。行楽で出かけることが多くなる夏休み期間中に限らず、平日頃から自動車乗車の際には、お互いに全席シートベルト着用を呼び掛けたいものです。

6月28日に行われた玉名地区学校等警察連絡協議会全体会で、交通課課長さんから強く呼び掛けられたのは次の2点です。



- 1 改正道路交通法の施行により、すべての自転車利用者のヘルメット着用が努力義務となっています。
- 2 交通事故発生時は確実に警察へ報告しないと「ひき逃げ事件」になります。いのちを守る安全運転をお願いします。